

# 国民健康保険 島本町は国が軽減している世帯にも値上げ

## 国保財政調整基金の推移

(単位:万円、千円以下切り捨て)

年度	基金から繰入	基金から繰出	基金残高
2014	1,125	1億5,026	1億9,669
2013	9,554	0	5,769
2012	0	4,699	1億5,323
2011	1億2,534	225	1億0,621
2010	1,865	7,200	2億2,925

## 国民健康保険料歳入歳出差引額

(単位:万円、千円以下切り捨て)

年度	差引翌年度繰り越し額
2014	7,228
2013	2億3,878
2012	4,383
2011	7,018
2010	176

※各年度決算書より

## 4月から第二中学校で給食が始まりました



第一中学校は、第二中学校から運ぶ方式を来年1月から実施します。長年、保護者などから要望が出されていました。町議団は町の当初案「仕出し弁当(大阪市のようなランチボックス)」には反対し、①自校炊飯②全員給食(就学援助制度の対象にできる)③プロパンガス等の併用で、防災時の炊き出し機能も兼ね備えることを議会で求め、実現できました。

引き続き、民間に委託されている調理業務を直営にすることなど、改善を求めています。

島本町は表のように基金を貯めており、毎年、翌年度に繰り越ししています。国保加入者の所得が減り、暮らしが厳しいところに保険料の値上げでは、いっそう暮らしを悪化させるだけです。2018年から国民健康保険制度が大阪府に移行することが予定されています。町の国保は毎年、翌年への繰越額を数千万円持ち、基金も一億円以上

積立えています。これは国保加入者がつくってきたものですから、保険料の軽減に利用しても良いものです。島本町だけで保険料を決められるのは、あと2年です。せめてその間だけでも保険料の値上げをしない決断をすべきです。

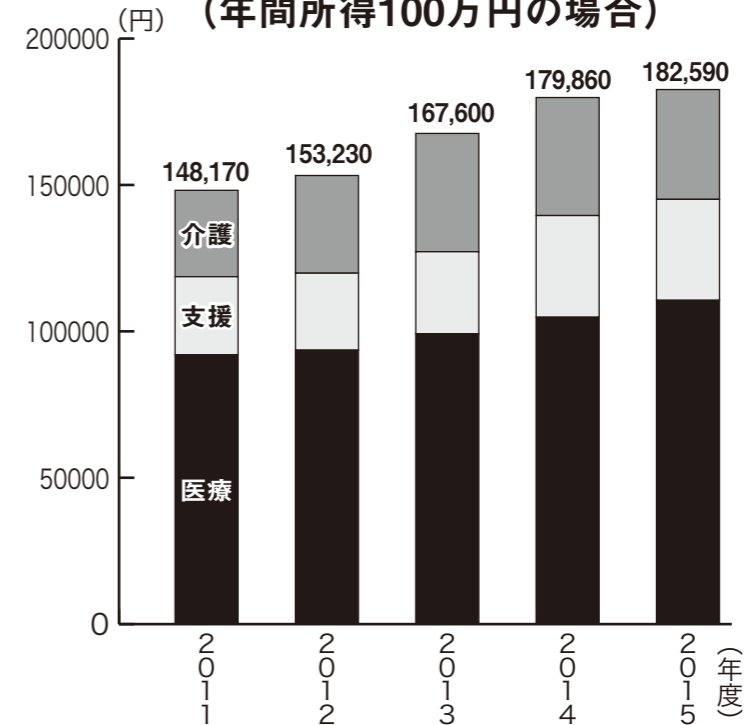
財源はあります 国保会計は黒字です 積立金もたくさんは要りません

60歳で所得の無い1人暮らしでの、2015年度保険料は年間2万7130円、この5年間で4350円上がりました。4人のモデル世帯、所得100万円では、3万4420円も上がりました。100万円では、3万4420円も上がりました。



島本町は今年度も一人当たり平均、約2000円の保険料値上げをします。保険料が決まるのは6月ごろですが、町は「上り幅はいろいろだが、すべての層で値上げの見込み」としています。

## 一人暮らしの保険料の推移 (年間所得100万円の場合)



※介護:介護保険料、支援:後期高齢者医療、医療:医療費  
※議員団調べ

すべての層が値上げ 収入の少ない世帯は値上げするべきではありません